

令和7年度第4回富津市学校運営協議会（大貫小）会議録（要旨）

○ 参加者

〔委員〕

加藤 悟（会長）	藤平 勝正	竹内 弘	鈴木 秀弘	平野朋子
杉田 玲子	三木 照恵	梅原 淳	秦野 真紀	

〔職員〕

佐粧 光一

〔傍聴者〕 5名

○ 概要

（1）授業参観（1・6年生の縄跳び記録会）

（2）学校運営協議会議

ア 児童の様子について

- ・数種目（前跳び、あや跳び、二重跳び、後ろ跳び）から自分の取り組む跳び方を選べたのはよかった。このような自己選択の場は学校行事や授業においてありそうでない。授業の場でもたくさんあるとよい。
- ・回数の目標設定、なぜその跳び方を選んだのか等、表現し、評価してあげるとよい。数値化のみにこだわってしまうと出来事が平板になってしまう。
- ・子供たちがおとなしい気がする。淡々としていたように思えた。
- ・跳んでいる子どもたちは残り時間を見るのが難しいので、「あと〇分」や、目標を聞いておいて「あと〇回」という声かけがあるとよかった。
- ・縄跳び記録会という一つの行事としてみると盛り上がりに欠けていた。実況中継やインタビュー、演出等でもう少し盛り上げられるとよかった。

イ 学校再配置について

- ・閉校式の日程や内容について確認した。

ウ 学校や地域の課題と解決方法について

- ・不登校や課題のある家庭が多くなってきている。
→ 小学生は自己保存の欲求が強くなってくる。「めんどくさい」「だるい」という思いも強くある時期。その子なりの居場所をつくれるとよい。
- ・ゲストティーチャーを「招く」という発想から抜け出せるともっと充実した学習を展開できるのではないか。たとえば、合唱サークルの方と子どもたちが一緒に歌を歌うということを考えると、双方に「一緒に歌った」という手応えを得られるのではないか。
- ・来年度から佐貫小との再配置で大佐和小としてスタートする。その際、学校のなくなる佐貫小の保護者や児童の方が不安が大きいと思われる。その不安を軽減できるように配慮していくことが大切。

（3）給食の試食

- ・給食の試食をしていただいた。味付けや温度など、実際に食したことでの気づきが多かったようだ。
- ・市役所で作成した富津の昔話の動画を視聴した。